

東京保険医協会

「予防接種・子ども医療費助成制度 データ」

2022年9月

■ 2022年度 都内の区市町村における予防接種助成状況

凡例

- 対象者、助成額に関わらず自治体として助成を行っているものを「●」と表記した。
- 「麻しん・風しん（未接種者向け）」は、各区市町村によって対象者の要件が異なる（ex. 18歳までの定期未接種者のうち接種歴が1回もしくは0回の者）。
- 2022年7月末時点の状況を調査したものであり、その後に変更や新しい制度が開始するなど内容が変更となっている可能性もある。

【 区部 】

区市町村	BCG			おたふく	季節性 インフル エンザ	麻しん・風しん (未接種者向け)		里帰り先での 予防接種への 償還払い
	個別	集団	相互乗入			第1期 (1歳児)	第2期 (小学校入学前年)	
1 千代田区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●
2 中央区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●
3 港区	●	—	● ※1	×	●	●	●	●
4 新宿区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●
5 文京区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●
6 台東区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●
7 墨田区	●	—	● ※1	×	×	●	●	●
8 江東区	●	—	● ※1	×	×	●	●	●
9 品川区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●
10 目黒区	●	—	● ※1	●	● ※2	●	●	●
11 大田区	●	—	● ※1	×	●	●	●	●
12 世田谷区	●	—	● ※1.7 + 調布市、三鷹市	×	●	●	●	●
13 渋谷区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●
14 中野区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●
15 杉並区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●
16 豊島区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●
17 北区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●
18 荒川区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●
19 板橋区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●
20 練馬区	●	—	● ※1+武蔵野市	●	×	●	●	●
21 足立区	●	—	● ※1	×	×	●	●	●
22 葛飾区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●
23 江戸川区	●	—	● ※1	● ※3	×	●	●	●

※ 1：2016年4月から、23区内でBCGの相互乗入を開始。これにより、全ての子どもの定期接種は相互乗入が可能に。

※ 2：2022年10月からインフルエンザワクチンの助成を開始予定（目黒区）

※ 3：2022年10月から「おたふくかぜ」ワクチンの助成を開始予定（江戸川区）

【多摩】

区市町村	BCG			おたふく	季節性 インフル エンザ	麻しん・風しん (未接種者向け)		里帰り先での 予防接種への 償還払い
	個別	集団	相互乗入			第1期 (1歳児)	第2期 (小学校入学前年)	
24 八王子市	●	—	● ※4	●	×	●	●	●
25 立川市	●	—	×	×	●	×	×	●
26 武蔵野市	●	—	● ※5+練馬区	●	×	●	●	●
27 三鷹市	●	—	● ※5,6+世田谷区	● ※16	×	●	●	●
28 青梅市	—	●	×	×	×	×	×	● ※18
29 府中市	●	—	● ※9,10,11	×	×	●	●	●
30 昭島市	●	—	×	●	●	×	×	●
31 調布市	●	—	● ※6,8,11 +世田谷区	●	×	●	●	●
32 町田市	●	—	● ※4+相模原市	×	×	●	●	●
33 小金井市	●	—	● ※5,9	●	×	●	×	●
34 小平市	▲ ※12	●	×	×	×	×	×	●
35 日野市	—	●	● ※4	×	×	●	●	●
36 東村山市	—	●	×	×	×	×	×	●
37 国分寺市	●	—	×	×	●	×	×	●
38 国立市	●	—	● ※10	×	●	×	×	●
39 福生市	—	●	×	×	×	×	×	●
40 狛江市	●	—	● ※7,8	×	×	×	×	●
41 東大和市	●	—	×	×	×	●	●	●
42 清瀬市	—	●	×	×	●	×	×	●
43 東久留米市	—	●	×	▲ ※17	×	×	×	●
44 武蔵村山市	●	—	×	×	×	×	×	●
45 多摩市	●	—	● ※4	×	×	×	×	●
46 稲城市	▲ ※13	●	● ※4	×	×	×	×	●
47 羽村市	—	●	×	×	×	×	×	●
48 あきる野市	●	— ※14	×	×	×	×	×	—
49 西東京市	—	●	×	●	×	●	●	●
50 瑞穂町	—	●	×	●	●	●	●	—
51 日の出町	●	●	● ※15	×	×	×	×	● ※19
52 檜原村	●	—	×	●	●	×	×	● ※20
53 奥多摩町	●	—	×	×	●	×	×	— ※21

- ※ 4：南多摩保健医療圏5市で、BCGを含めた子どもの定期接種の相互乗入を実施（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）
- ※ 5：小金井市・三鷹市・武蔵野市でBCGの相互乗入を実施
- ※ 6：2019年4月からBCGの相互乗入開始（三鷹市 ⇄ 調布市）
- ※ 7：2021年4月からBCGの相互乗入開始（世田谷区 ⇄ 狛江市）
- ※ 8：2021年4月からBCGの相互乗入開始（調布市 ⇄ 狛江市）
- ※ 9：BCGの相互乗入について2021年4月から医師会間で個別契約を締結（府中市 ⇄ 小金井市）
- ※ 10：BCGの相互乗入について2021年4月から医師会間で個別契約を締結（府中市 ⇄ 国立市）
- ※ 11：BCGを含めた子どもの定期接種の相互乗入を実施（府中市 ⇄ 調布市）
- ※ 12：「集団接種」がメインだが「個別接種」も可能（小平市）
- ※ 13：原則として、稲城市保健センターで実施する「集団接種」による（稲城市）
- ※ 14：新型コロナウイルスの影響により「集団接種」は中止（あきる野市）
- ※ 15：あきる野市への乗入のみ（日の出町 ⇄ あきる野市）
- ※ 16：2022年10月から「おたふくかぜ」ワクチンの助成を開始（三鷹市）
- ※ 17：東久留米市医師会として「おたふくかぜ」の予防接種費用の助成を独自に実施（東久留米市）
- ※ 18：2022年4月から里帰り出産等により市外で接種した「子どもの定期接種」費用の償還払いを開始（青梅市）
- ※ 19：2022年度中に、里帰り出産等により市外で接種した「子どもの定期接種」費用の償還払い制度を開始予定（日の出町）
- ※ 20：里帰り先で長期に滞在する事情などを考慮のうえ、個々の事例で償還払いを実施（檜原村）
- ※ 21：単なる里帰り出産による償還払いは行っていないが、治療等の理由から町内での接種が困難な場合には償還払いを実施（奥多摩町）

2022年度 MRワクチン未接種者に対する任意助成制度の状況（23区）

東京保険医協会まとめ（2022年9月作成）

※任意接種の助成対象年齢のうち、定期接種対象者は除く。2017・2018年度は以下のような動きがあったが、2019・2020・2021年度に続き **2022年度も大きな変更はなかった。**

- ・2017年度 対象者・補助回数を**拡充**：足立区（最大2回へ）**新設**：板橋区（ただし自己負担あり）
- ・2018年度 **新設**：港区 対象者を**拡充**：中野区

A) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応し、期間内であれば最大2回まで補助

例えば対象年齢が2歳～18歳の場合、15歳の時点で1度も接種していないことが分かった場合でも2回分の費用は助成が受けられる。

「2歳～18歳まで」とまとめている自治体と、「2歳～2期接種前／小学校1年生～18歳まで」など時期を分けている自治体があるが、全期間通じて2回の接種機会を確保する。

2歳～19歳	中央区、目黒区
2歳～18歳	千代田区、新宿区、台東区、墨田区、中野区、豊島区、北区、荒川区、練馬区、足立区、葛飾区、港区、大田区、渋谷区
2歳～小学4年	江東区
本人負担：なし（いずれも無料）	

B) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応するが、期間内はそれぞれ1回分の補助

あくまで各期の終了直後をフォローするものであり、小学1年以降に1期接種漏れが発覚した場合は1期漏れ分の助成を受けられない。

①2歳～2期対象前、②小学1年～6年、③中学1年～19歳	文京区 ※
①2歳～2期対象前、②小学1年～6年	杉並区、江戸川区
①2歳～2期対象前、②小学1年のみ	世田谷区
本人負担：なし（いずれも無料）	

※ 文京区は2期接種漏れの者については②か③どちらか1回のみ助成。

C) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応するが、通算して1回分の補助

対象年齢であればいつ申請しても構わないが、費用は1回分しか出ない。

2歳～18歳（全期間通じて1回）	品川区
本人負担：なし（1回のみ）	

D) 条件はAと同じ、ただし「自己負担」あり

対象者などの条件は「A」と同じだが、利用希望者は自己負担が発生する。

2歳～18歳	板橋区
本人負担： <u>あり</u> （麻しん・風しん混合ワクチン：1,000円／単体ワクチン：500円）	

E) 助成制度なし

助成制度なし	なし
--------	----

以上

2022年度 MRワクチン未接種者に対する任意助成制度の状況（多摩）

東京保険医協会まとめ（2022年9月作成）

※ 任意接種の助成対象年齢のうち、定期接種対象者は除く。

2020・2021年度に続き **2022年度も変更はなかった。**

A) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応し、期間内であれば最大2回まで補助

例えば対象年齢が2歳～18歳の場合、15歳の時点で1度も接種していないことが分かった場合でも2回分の費用は助成が受けられる。

「2歳～18歳まで」とまとめている自治体と、「2歳～2期接種前／小学校1年生～18歳まで」など時期を分けている自治体があるが、全期間通じて2回の接種機会を確保する。

2歳～18歳（全額）	武蔵野市、三鷹市、日野市 (年度中1回のみ) 八王子市、町田市
2歳～18歳（一部）	東大和市（1回につき5,000円を上限として助成） 西東京市（1回につき自己負担5,800円）
2歳～小学6年（全額）	府中市
2歳～7歳6カ月未満（全額）	調布市

B) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応するが、いずれか1回分の補助のみ

2歳～18歳（一部）	瑞穂町（5,000円を助成）
------------	----------------

C) 1期漏れのみを対象とする／2期漏れは対応しない

1期終了～2期接種期間前の子どもを対象とし、2期漏れは対象にならない。

2歳～5歳未満（全額）	小金井市
-------------	------

D) 助成制度なし

助成制度なし	立川市、青梅市、昭島市、小平市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩町
--------	---

以上

大人の風疹抗体検査費用及び予防接種費用調査

東京保険医協会・地域医療部調べ（2022年9月作成）

※抗体検査の助成対象者のうち、抗体価が低い者が予防接種の助成対象。
 ※2022年度は、江戸川区で予防接種の助成対象者が拡大。

	抗体検査		予防接種		対象者
	検査対象	検査費用	接種対象	接種費用	
千代田区	独自	無料	独自	無料	○ + 30～50歳代男性。
中央区	○	無料	○	無料	
港区	独自	無料	独自	無料	「妊婦の同居者」は風しん抗体価の低い妊婦の同居者に限る。
新宿区	独自	無料	○	自己負担額 MR：5,210円、風疹単独：3,140円	○ + 妊娠を予定または希望する女性の配偶者またはパートナー（別居）。妊婦の配偶者またはパートナー（別居）。
文京区	○	無料	○	無料	
台東区	○	無料	○	無料	
墨田区	○	無料	○	無料	
江東区	独自	無料	独自	無料	妊娠を予定または希望する19歳～49歳までの女性およびその同居者（19歳以上）。
品川区	○	無料	○	無料	抗体価の低い妊婦の同居者（19歳以上）。
目黒区	独自	無料	独自	無料	妊娠を予定又は希望している女性およびその同居者。妊婦の同居者（いずれも19歳～59歳まで）。
大田区	○	無料	○	無料	19歳以上の妊娠を予定または希望する女性およびその同居者（19歳以上）。妊婦の同居者（19歳以上）。
世田谷区	独自	無料	独自	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	「妊婦の同居者」は風しん抗体価の低い妊婦の同居者に限る。
渋谷区	○	無料	○	無料	
中野区	独自	無料	独自	無料	○ + 30～50歳代男性。
杉並区	独自	無料	独自	19歳以上49歳までの妊娠希望女性：全額助成 同居者：自己負担額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	19歳～49歳の妊娠を希望する女性およびその同居者（19歳以上）。抗体価の低い妊婦の同居者（19歳以上）。
豊島区	独自	無料	独自	無料	妊娠を希望する女性およびそのパートナーまたは同居者。妊婦のパートナーまたは同居者（いずれも19歳～69歳）
北区	独自	無料	独自	無料	都基準対象者のうち、昭和37年（1962年）4月2日から平成12年（2000年）4月1日生まれの方。
荒川区	独自	無料	独自	無料	「妊婦の同居者」は風しん抗体価の低い妊婦の同居者に限る。
板橋区	独自	無料	独自	無料	19歳～49歳の妊娠を希望する女性およびそのパートナー（19歳以上）。
練馬区	○	無料	○	無料	妊婦の同居者またはパートナー（19歳以上）。
足立区	独自	無料	独自	自己負担額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	19歳以上の男女。
葛飾区	独自	無料	独自	無料	19歳以上の男女。
江戸川区	○	無料	○	無料	2022年度から、同居者について、平成2年（1990年）4月2日以降に生まれた方も対象となった（19歳以上）。

八王子市	○	無料	○	無料	○	無料
立川市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風疹単独：3,500円	○	無料
武蔵野市	○	無料	○	自己負担額：4,000円	○	無料
三鷹市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風疹単独：1,745円	○	無料
青梅市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
府中市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
昭島市	○	無料	○	無料	○	無料
調布市	○	無料	○	自己負担額 MR：4,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
町田市	○	無料	○	無料	○	無料
小金井市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
小平市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
日野市	○	無料	○	無料	○	無料
東村山市	○	無料	○	自己負担額 MR：1,040円、風疹単独：680円	○	無料
国分寺市	○	無料	○	無料	○	無料
国立市	○	無料	○	自己負担額 MR：4,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
福生市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
狛江市	○	無料	○	自己負担額 MR：4,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
東大和市	○	無料	○	無料	○	無料
清瀬市	○	無料	○	自己負担額 1,000円	○	無料
東久留米市	○	無料	○	自己負担額 MR：1,300円、風疹単独：750円	○	無料
武蔵村山市	○	無料	○	妊娠を予定または希望する女性：全額助成 同居者：自己負担額 MR：4,500円、風疹単独：3,000円	○	無料
多摩市	○	無料	○	無料	○	無料
稲城市	○	無料	○	自己負担額 MR：4,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
羽村市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
あきる野市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
西東京市	○	無料	○	自己負担額 MR：5,800円、風疹単独：4,000円	○	無料
瑞穂町	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	○	無料
日の出町	○	無料	○	無料	○	無料
檜原村	○	無料	○	無料	○	無料
奥多摩町	○	無料	○	無料	○	無料

※「○」は都基準に準ずる。都基準の対象は以下の通り。

・風しん抗体検査
都内に住所を有する19歳以上で、以下に該当し、風しん抗体検査を希望する者

(1) 妊娠を予定又は希望している女性

(2) 妊婦の同居者

(3) (1)の同居者

※ 国が行う緊急風しん抗体検査等事業の対象者等を除く。

・予防接種対象

19歳以上で、以下のいずれかに該当する者

(1) 妊娠を予定又は希望している女性

(2) 妊婦の同居者

(3) (1)の同居者

ただし、検査で接種が必要と認められる者に限る。

(風しん第5期定期予防接種の対象者はそちらが優先)

■「おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）」

東京保険医協会・地域医療部（2022年9月作成）

2022年度は、江戸川区・三鷹市がおたふくかぜワクチン接種への助成開始予定（10月～）

八王子市が自己負担3,000円から全額助成に拡充（4月～）

	対象者（児）	助成金額	助成回数
1	千代田区 1歳～就学前年度の3月31日まで	全額助成	2回
2	中央区 1歳～小学校就学前年度（1回目） ----- 小学校就学前年度（2回目）	4,000円助成／回	2回
3	新宿区 1歳～小学校就学前	自己負担3,000円（※1）	1回
4	文京区 1歳～小学校就学前	3,000円助成	1回
5	台東区 1歳～小学校就学前	3,500円助成	1回
6	品川区 1歳～小学校就学前	3,000円助成	2回
7	目黒区 1歳～4歳未満	3,000円助成（※1）	1回
8	渋谷区 1歳～4歳未満	全額助成	1回
9	中野区 1歳～小学校就学前	4,000円助成	2回
10	杉並区 1歳～小学校就学前	4,000円助成	1回
11	豊島区 1歳～3歳未満	全額助成	1回
12	北区 1歳～小学校就学前	上限3,500円助成	1回
13	荒川区 1歳～小学校就学前	3,500円助成	1回
14	板橋区 1歳～2歳未満	3,000円助成	1回
15	練馬区 1歳～3歳未満	3,000円助成（※1）	1回
16	葛飾区 1歳～2歳未満	全額助成	1回
17	江戸川区 1歳～小学校就学前	3,000円助成（※1）	2回
18	八王子市 1歳～2歳未満（1回目） ----- 小学校就学前年度（2回目）	全額助成	2回
19	武蔵野市 1歳～小学校就学前	自己負担2,500円（※1）	1回
20	三鷹市 1歳～2歳未満	3,000円自己負担（※1）	1回
21	昭島市 1歳～3歳未満	自己負担3,000円（※1）	1回
22	調布市 1歳～2歳未満	自己負担3,000円（※1） （3,600円助成）	1回
23	小金井市 1歳～2歳未満	3,500円を自己負担	1回
24	東久留米市 医師会 1歳～2歳未満（※2）	自己負担2,000円	1回
25	西東京市 1歳～2歳未満	自己負担3,100円（※1）	1回
26	瑞穂町 1歳～6歳未満	3,000円助成	1回
27	檜原村 1歳～7歳未満	全額助成	1回

※1：生活保護受給世帯等の子どもは無料（新宿区、目黒区、練馬区、江戸川区、武蔵野市、三鷹市、昭島市、調布市、西東京市）
 ※2：対象者は、東久留米市に住民登録があり、これまでおたふくかぜに罹患したことがなく、かつ過去に1回もおたふくかぜ予防接種を受けたことがない児（東久留米市医師会）

※ 東京都では2007年度から、区市町村が独自に任意接種の助成を行う場合に、「1歳から就学前までの児」を対象に経費の1/2を補助している

■「季節性インフルエンザ」の助成

2022年度は、**目黒区**が子どものインフルエンザワクチン任意接種への助成を開始予定（10月～）

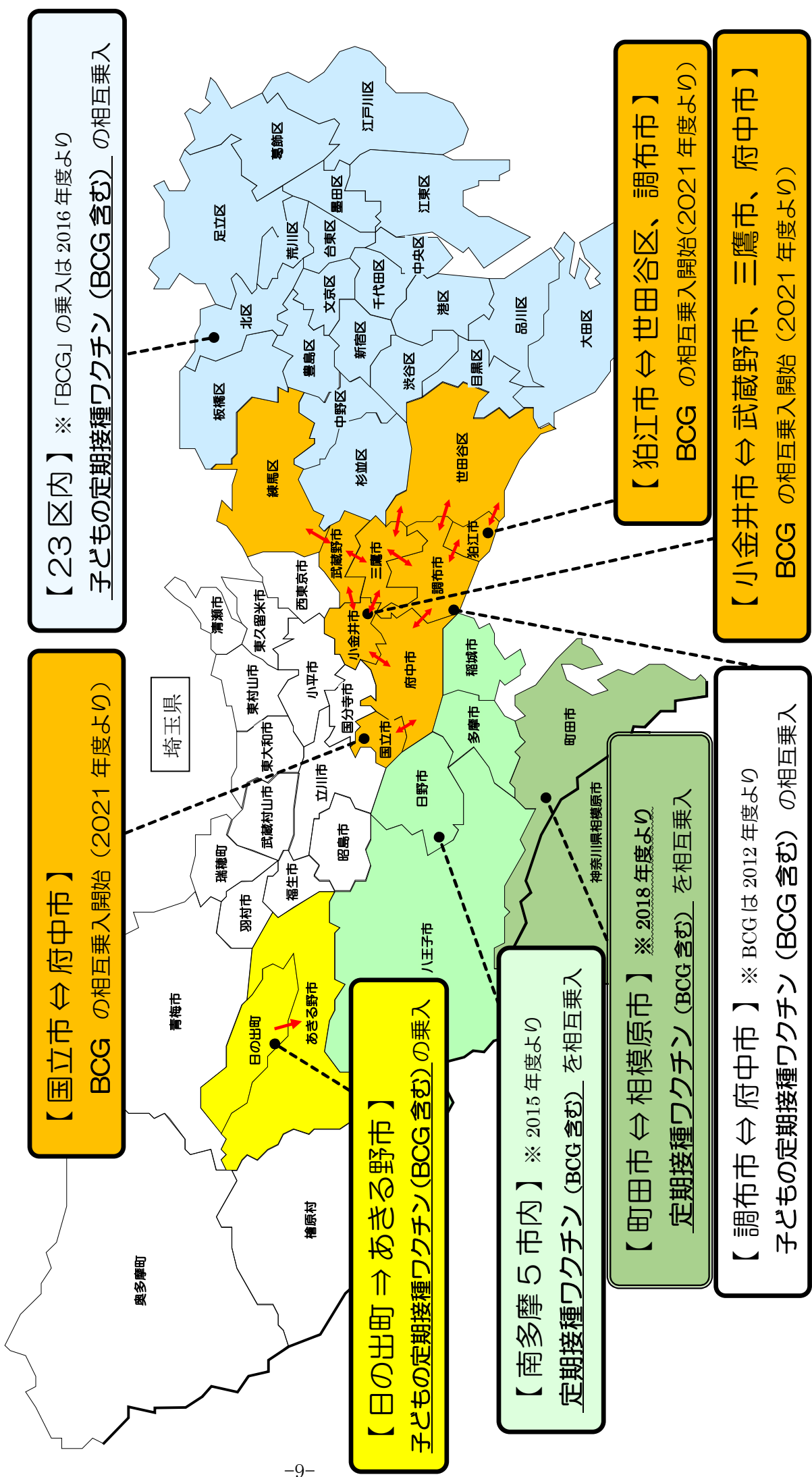
港区が対象年齢を15歳まで→18歳までに拡充（10月17日～）

	対象者（児）	助成金額	助成回数
1	千代田区	生後6か月～13歳未満	2回／年
		13歳～18歳（高校3年生相当）	1回／年
2	港区	生後6か月～小学校6年生	2回／年
		13歳～18歳（高校3年生相当）	1回／年
3	新宿区	13歳未満	自己負担1,700円／回 （生活保護受給世帯等は無料）
		13歳～65歳未満の生保受給世帯等	全額助成
4	文京区	生後6か月～13歳未満	2回／年
		13歳～15歳（中学3年生）	1回／年
5	台東区	生後6か月～13歳未満	2回／年
		13歳～15歳（中学3年生）	1回／年
6	品川区	1歳～13歳未満	2回／年
		13歳～15歳（中学3年生）	1回／年
7	目黒区	生後6か月～13歳未満	2回／年
		13歳～15歳（中学3年生）	1回／年
8	大田区	生後6か月～13歳未満	2回／年
		13歳～15歳（中学3年生）	1回／年
9	世田谷区	1歳～12歳	2回／年
		13歳～15歳（中学3年生）	1回／年
10	渋谷区	1歳～12歳	2回／年
		13歳～15歳（中学3年生）	1回／年
11	中野区	生後6か月～小学校就学前	2回／年
12	葛飾区	生後6か月～12歳	2回／年
		13歳～15歳（中学3年生）	1回／年
13	立川市	生後6か月～小学校6年生	2回／年
14	昭島市	13歳未満	自己負担1,500円／回 （生活保護受給世帯等は無料）
		13歳～18歳（高校3年生相当）	1回／年
15	国分寺市	生後6か月～小学校3年生	2回／年
16	国立市	生後6か月～小学校就学前	2回／年
17	清瀬市	生後6か月～13歳未満	2回／年
		13歳～中学3年生相当まで	1回／年
18	瑞穂町	1歳～小学校就学前	2回／年
19	檜原村	乳幼児～高校生（18歳まで） 生活保護受給世帯の方（年齢に関わらず）	全額助成
		「上記」および「高齢者インフルエンザ（定期接種）」の対象者以外の村民	自己負担2,700円／回
20	奥多摩町	生後6か月～19歳未満（高校3年生相当）	1回／年

※1：助成回数は年齢により異なる。例えば、3～13歳未満の児については2回接種が必要なので2回分を全額助成（檜原村）

■ 2022年度 都内区市町村における「BCG」の相互乗入状況

子どもの定期接種のうち、「BCG」については2012年度から「調布市 ⇄ 府中市」間で、2015年度からは「南多摩5市」の域内で、さらに2016年度からは「23区」の域内で相互乗入が行われている。2018年度から「世田谷区 ⇄ 調布市」間、「練馬区 ⇄ 武蔵野市」間、2019年度から「世田谷区 ⇄ 三鷹市」、2021年度からは「世田谷区 ⇄ 狛江市」で区部と多摩部をまたいだ相互乗入が行われているほか、2018年度から町田市と神奈川県相模原市との間で都県をまたいだ相互乗入が行われている。



■ 東京都の「子ども医療費」助成制度（2022年度）

	マル乳（義務教育就学前）					マル子（義務教育就学児、小・中学生）				
	対象年齢		所得制限	窓口負担	入院時食事	対象年齢		所得制限	通院時自己負担	入院時食事
	入院	通院				入院	通院			
東京都	6歳 年度末	6歳 年度末	—	—	—	15歳 年度末	15歳 年度末	あり ※1	200円 ※2	—

※1：東京都から区市町村への補助対象となる「所得制限額」は、児童手当法の所得制限と同額。

【参考】児童手当法の所得制限限度額（カッコ内は収入額の目安）

※ 一律控除の8万円を除いた金額で、4人目以降は省略（計算方法は38万円加算/人）

扶養人数： 0人=622万円（833.3万円） / 1人=660万円（875.6万円） / 2人=698万円（917.8万円） / 3人=736万円（960万円）

※2：自己負担は「通院1回につき200円」であるが、通院に伴う「調剤」のほか、「入院分」については全額助成となる

■ 23区の「子ども医療費」助成制度の概要（2022年度）

	マル乳（義務教育就学前）					マル子（義務教育就学児、小・中学生）					
	対象年齢		所得制限	窓口負担	入院時食事	対象年齢		所得制限	通院時自己負担	入院時食事	
	入院	通院				入院	通院				
1	千代田区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※4	18歳年度末※4	—	—	—
2	中央区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5
3	港区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5
4	新宿区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5
5	文京区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
6	台東区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5
7	墨田区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
8	江東区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
9	品川区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	18歳年度末※6	15歳年度末	—	—	● ※5
10	目黒区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5
11	大田区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5
12	世田谷区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5
13	渋谷区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5
14	中野区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
15	杉並区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
16	豊島区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
17	北区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※6	15歳年度末	—	—	—
18	荒川区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
19	板橋区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
20	練馬区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5
21	足立区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
22	葛飾区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
23	江戸川区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	● ※5	15歳年度末	15歳年度末	—	—	● ※5

※3：2023年4月から東京都全域で高校生等医療費助成制度の創設が予定されている。23区は所得制限なし・自己負担なし。

※4：千代田区は2011年4月から、区独自に「高校生等医療費助成制度（15～18歳の年度末）」を開始。所得制限はなく、助成は“現物給付”方式による全額助成。千代田区以外の医療機関で受診した場合等、償還払いでの対応もあり。

※5：入院時食事療養費は、いったん自己負担分を支払った後、領収書等とともに申請することで“償還払い”を受けることができる（中央区、港区、新宿区、台東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、豊島区、練馬区、江戸川区の12区。なお、豊島区はマル乳（義務教育就学前）に限る）

※6：北区は2011年7月から、品川区は2019年7月から、区独自に「高校生等の入院医療費助成（15～18歳の年度末）」制度を開始。所得制限はなく、助成は“償還払い”方式による全額助成。

■ 多摩部の「子ども医療費」助成制度の概要（2022年度）

	マル乳（義務教育就学前）					マル子（義務教育就学児、小・中学生）					
	対象年齢		所得制限	窓口負担	入院時食事	対象年齢		所得制限	通院時自己負担	入院時食事	
	入院	通院				入院	通院				
24	八王子市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
25	立川市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
26	武蔵野市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※9	18歳年度末※9	—	—	—
27	三鷹市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※10	18歳年度末※10	—※11	200円	—
28	青梅市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
29	府中市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
30	昭島市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
31	調布市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	▲※12	200円※12	—
32	町田市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—※11	200円	—
33	小金井市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	▲※13	200円	—
34	小平市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
35	日野市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	—	—
36	東村山市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
37	国分寺市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	▲※14	200円	—
38	国立市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※8	15歳年度末	15歳年度末	▲※13	200円	●※8
39	福生市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
40	狛江市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※15	18歳年度末※15	▲※13	200円	—
41	東大和市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
42	清瀬市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
43	東久留米市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	▲※8	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
44	武蔵村山市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※8	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
45	多摩市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
46	稲城市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
47	羽村市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
48	あきる野市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※7	200円	—
49	西東京市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
50	瑞穂町	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—※11	200円	—
51	日の出町	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※15	18歳年度末※15	—	—	—
52	檜原村	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※15	18歳年度末※15	—	—	—
53	奥多摩町	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※15	18歳年度末※15	—	—	—

※7：所得制限については、児童手当法にもとづく「東京都基準」と同じ。

※8：入院時食事療養費は、いったん自己負担分を支払った後、領収書等とともに申請することで“償還払い”を受けることができる。
（国立市、東久留米市、武蔵村山市。東久留米市は「0歳児」、武蔵村山市は「マル乳」に限る）

※9：武蔵野市は2021年4月から高校生等の入院医療費助成を開始。2022年4月から通院にも拡大（市内なら現物給付）。

※10：三鷹市は2022年10月から高校生等医療費助成制度を開始（償還払い）。ただし、通院時自己負担（200円）あり。

※11：瑞穂町は2020年10月から、町田市は2021年4月から、三鷹市は2022年10月からマル子の所得制限を撤廃。

※12：調布市は2016年10月から住民税非課税世帯の自己負担（200円）撤廃。2019年10月から小学校卒業までの所得制限も撤廃。

※13：国立市は2018年10月から、小金井市は2021年10月から、狛江市は2022年10月から小学校卒業までの所得制限を撤廃。

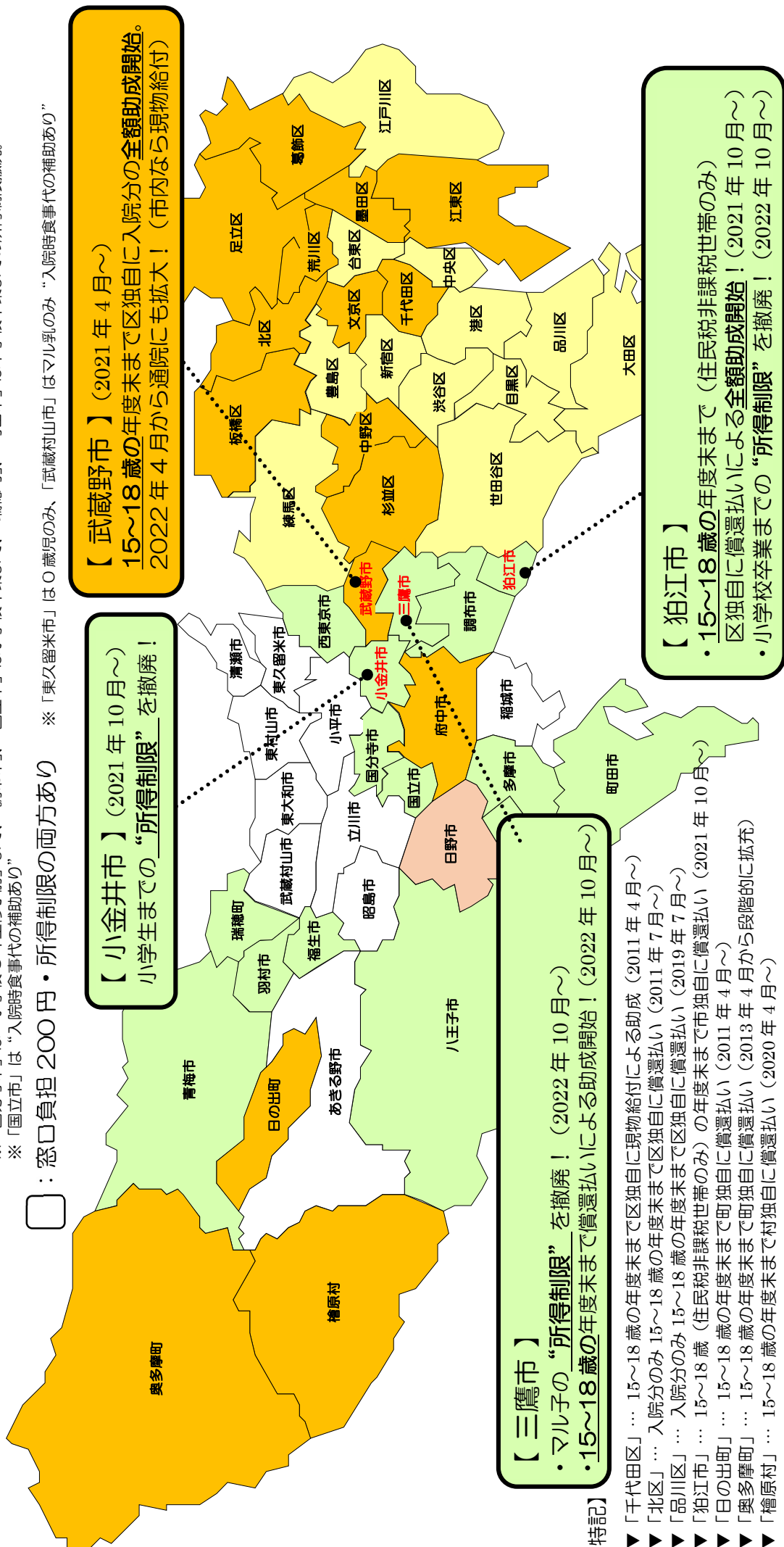
※14：国分寺市は2017年10月から「小学校3年生修了前」までの所得制限を撤廃。

※15：日の出町は2011年4月、奥多摩町は2013年4月、檜原村は2020年4月、狛江市（住民税非課税世帯のみ）は2021年10月から、市・町・村独自の医療費助成制度（15～18歳の年度末）を開始（償還払い）。

都内区市町村における「子ども医療費助成制度」の窓口負担・所得制限等の現状

東京保険医協会調べ（2022年7月作成）

- : 窓口負担・所得制限なし（入院時食事代の補助あり） ※「豊島区」の入院食事代の補助は“マル乳”のみ（マル乳は×）
- : 窓口負担・所得制限なし
- : 窓口負担なし・所得制限あり
- : 窓口負担200円あり・所得制限なし
※「国分寺市」は「小学校3年生修了前」まで、「調布市」、「国立市」は小学校卒業まで、「瑞穂町」、「町田市」は中学校卒業までの所得制限撤廃。
※「国立市」は“入院時食事代の補助あり”
- : 窓口負担200円・所得制限の両方あり ※「東久留米市」は0歳児のみ、「武蔵村山市」はマル乳のみ“入院時食事代の補助あり”



【特記】

- ▼「千代田区」… 15～18歳の年度末まで区独自に現物給付による助成（2011年4月～）
- ▼「北区」… 入院分のみ15～18歳の年度末まで区独自に償還払い（2011年7月～）
- ▼「品川区」… 入院分のみ15～18歳の年度末まで区独自に償還払い（2019年7月～）
- ▼「狛江市」… 15～18歳（住民税非課税世帯のみ）の年度末まで市独自に償還払い（2021年10月～）
- ▼「日の出町」… 15～18歳の年度末まで町独自に償還払い（2011年4月～）
- ▼「奥多摩町」… 15～18歳の年度末まで町独自に償還払い（2013年4月から段階的に拡充）
- ▼「檜原村」… 15～18歳の年度末まで村独自に償還払い（2020年4月～）